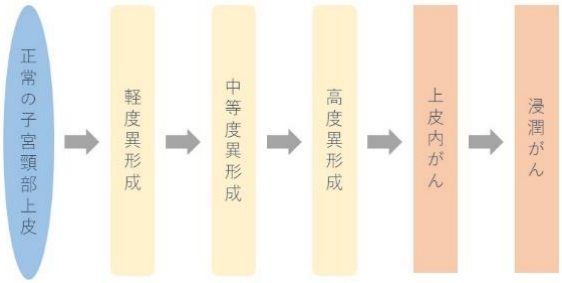
子宮頸部のコルポスコピーと組織診に関する説明書・同意書

【病名】子宮頸部異形成の疑い　　（細胞診結果：　　）

【検査を行う目的】

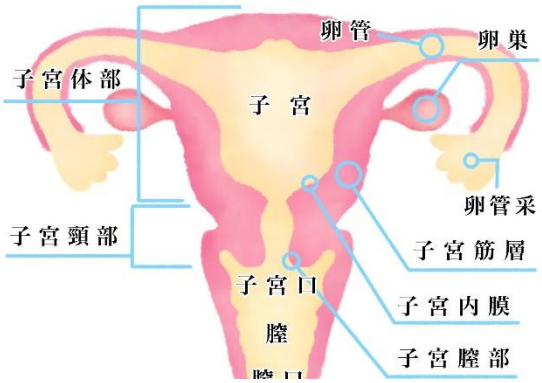
細胞診検査（子宮がん検診）だけでは悪性腫瘍の前段階である異形成(形態に異常がある)の評価が不十分です。組織診を行うことで初めて確定診断できます。診断が確定しないと治療方針を決められなかったり、治療が遅れてしまったりする可能性が生じます。



【検査の内容と検査後の注意】

子宮頸部を酢酸で加工し、コルポスコープという拡大鏡を使って、病変部位を確認しながら組織を採取します。

子宮はとても出血しやすいため、わずかな傷でも出血します。出血を抑えるため、腟内にガーゼを詰めますので、本日（　　）時頃にご自身で抜いてください。本日は入浴、激しい運動や過度な飲酒などは避けてください。シャワーは可能です。性交渉は再出血の予防のため一週間ほどお控えください。次回の外来で、本日の結果をお伝えいたします。結果によっては手術ができる病院へご紹介することもございます。



【起こりうる合併症と対応】

①疼痛

個人差はありますが、組織採取時に痛みを伴うことがあります。

②出血

組織採取時とその後１週間程度は、出血することが多いです。茶色いおりものが持続することがありますが、赤い鮮血でなければ基本的には心配ございません。通常の月経２日目より多い出血が持続する場合は、ご連絡の上ご来院ください。ほとんどの場合は圧迫で止血されますが、状況によっては縫合処置が必要になることがあります。

③感染

組織診を行った傷から感染を起こすことは極めて稀ですので、通常抗菌薬を使用することはありません。38℃を超える発熱がある場合はご来院のいただき、感染症の治療を行うことがあります。

お困りの際には、お電話（03-3818-1132）をください。いずれも当院での対応が難しい場合は高次医療施設にご紹介いたします。

年　　月　　日

説明医師：

～・～

文京ガーデン女性クリニック 院長　殿

私は、コルポスコピーと組織診について、説明書に基づき、担当医師から十分な説明を受け納得いたしましたので、治療を受けることに同意いたします。医療中に緊急処置の必要が生じた場合、適切な処置を受けることについても承諾いたします。

年　　月　　日

患者氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

文京ガーデン女性クリニック